

○市民生活部長 このような数字は参考にさせていただきながら、今後、町やいろいろなところで展開をさせていただきたいというふうに思います。

○議長 保健福祉部長。

○保健福祉部長 保健福祉部長でございます。

高齢者のごみ出しの支援に関しましては、こちらのデータをいただきまして、現在、各町会長等に状況の確認を、細かいところで今行ってきておりますので、そちらのほうで整理をさせていただき、今後の検討材料にしたいというふうに考えております。

○議長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長 それでは、次に、市道0139号線整備事業について説明をお願いします。

建設部長。

○建設部長 建設部長でございます。

03、市道0139号線整備事業についてご説明をさせていただきます。

今回、茨城県から10月末に説明のありました最新単価で算出した事業費に、今後の物価変動等を考慮するなどしまして、全体事業費の精査を行いましたので、その内容についてご説明をさせていただきたいと存じます。着座にて失礼いたします。

1、全体事業費の増加についてでございます。

この全体事業費につきましては、常陸太田市施工区間分となっております。物価高騰等の影響を踏まえまして、県とともに事業費の精査を行ったところ、事業費が増加する見込みとなっております。

(1) 全体事業費の変動状況でございますが、当初約125億円に対しまして、変更後264億円、139億円の増額となる見込みとなっております。表下段に記載させていただきますが、この264億円につきましては、県から10月末に報告を受けました本年8月末現在単価で算出した事業費をベースに、大規模工事であるトンネル工事について、今後の資材等の変動を考慮して算出したものでございます。

次に、(2) 主な増加の要因でございますが、トンネル工事につきましては、当初66億円に対し135億円となり、約69億円の増加を見込んでいる状況でございます。その理由といたしましては、約63億円が物価上昇分として記載させていただいておりますが、このうち物価上昇分が44億円、これに加えて工法変更といたしまして、残土処分地の変更や、トンネルの掘削方法といたしまして、日立市側から片側からの施工を考えておりましたが、用地取得難航により工期短縮のため、両側から掘削することにより、仮設備の追加が必要となるなど、工法変更による増加分も含まれてございます。また、用地取得難航に伴い、トンネル工事に着手するため、仮設進入路の追加などによりまして、約6億円の増加となっております。

橋梁工事につきましては、当初39億円に対し86億円と約47億円の増加となっております。変更理由といたしましては、資材等の上昇分として約35億円、用地取得難航に伴い、工事の進入路の追加などで約12億円となっております。

次に、道路改良でございますが、資材等の上昇や、のり面部の土質が岩盤となっていたため、植生工からのり面吹付などに変更となるなど、工法の変更によりまして、約11億円の増加となっております。

最後に、委託・用地等でございますが、調査設計費の追加といたしまして、猛禽類の調査やはたそめ団地内の生活環境調査、土地収用に伴う調査設計、仮設進入路に係る調査設計など、約1